

## 新年賀詞交歓会を行いました

平成23年1月4日に管理棟4階第1会議室にて、新年賀詞交歓会を行いました。小森彰夫所長から所員へ年頭の挨拶があった後、平成22年中の学会賞等受賞者の紹介がありました。



平成22年 学会賞等受賞者

《平成22年 学会賞等の受賞者》 (職名は受賞当時のものです)

受賞年月日	受賞者	賞名
H22.3.20	糟谷 直宏 助教	第4回日本物理学会若手奨励賞
H22.3.25	長坂 琢也 准教授	核融合エネルギーフォーラム 吉川允二核融合エネルギー奨励賞
H22.4.13	秋山 毅志 助教	〃
H22.6.11	居田 克巳 教授	文部科学大臣表彰科学技術賞研究部門
H22.6.11	中野 治久 助教	第8回核融合エネルギー連合講演会 若手優秀発表賞
H22.10.1	尾花 哲浩 助教	第26回核融合技術に関するシンポジウム 最優秀ポスター賞
H22.11.30	井戸 毅 准教授	(社)プラズマ・核融合学会 第15回技術進歩賞
H22.11.30	清水 昭博 助教	〃
H22.11.30	西浦 正樹 助教	〃
H22.11.30	宇佐見 俊介 助教	(社)プラズマ・核融合学会 第15回学術奨励賞
H22.11.30	岡村 昇一 教授	(社)プラズマ・核融合学会 平成22年度プラズマ・核融合学会賞 貢献賞
H22.12.3	村上 泉 准教授	〃
H22.12.3	秋山 毅志 助教	(社)プラズマ・核融合学会 第1回若手優秀発表賞

## 平成22年度プラズマ・核融合学会賞を受賞

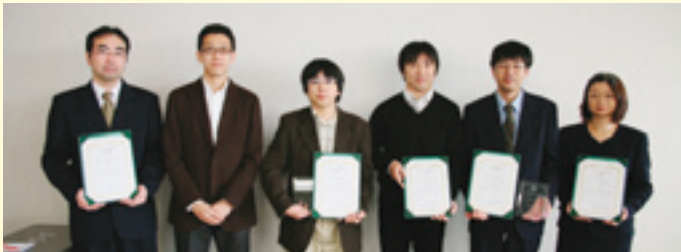
11月30日から12月3日に北海道大学で開催されたプラズマ・核融合学会第27回年會にて、核融合科学研究所から多数の研究者が表彰されました。

第15回技術進歩賞を「大型ヘリカル装置における重イオンビームプローブの開発」に対して井戸毅准教授、清水昭博助教、西浦正樹助教、西澤章光元助手、濱田泰司名誉教授が受賞しました。核融合プラズマの閉じ込め性能を左右すると考えられている電位分布と、電位の揺らぎを計測するために、世界最高のエネルギーを持つイオンビームを用いた計測器である重イオンビームプローブ装置を開発し、これまで計測することが困難であったプラズマ中心領域の電位分布と、電位の揺らぎの計測に成功した点が評価されました。

第15回学術奨励賞を宇佐見俊介助教が受賞しました。対象となった研究成果は「MHD-PIC連結手法を用いた磁気リコネクションの多階層シミュレーション」です。多階層シミュレーションは時空間スケールの異なる物理過程を統一的に解くための計算手法で、多くの科学分野においてその手法開発が世界的に競われています。受賞理由は、核融合プラズマの崩壊現象などで本質的な役割を果たす磁気リコネクション現象に対して、異なるアルゴリズムのMHDコードと粒子コードを組み合わせ、それらを自己無撞着に連結することで、シミュレーションを可能とする数値手法を考案・開発し、その有用性を示したことによるものです。

また、プラズマ・核融合学会歴代の常務理事を務められた市川芳彦名誉教授、大林治夫名誉教授、川村孝弐名誉教授、大久保邦三名誉教授、上村鉄雄名誉教授、岡村昇一教授に、創設時からの献身的かつ精力的な学会活動に対して貢献賞が贈られました。また、平成21年度文部科学省科学技術週間の一環で活動したプラズママップ制作委員会に、ボランティアで参加し活動に貢献した村上泉准教授も同賞を受賞しました。

秋山毅志助教が「若手優秀発表賞」(未来エネルギー研究協会協賛)を受賞しました。当賞は、プラズマ・核融合分野の発展に貢献する優秀な一般講演論文を発表した若手・学生会員を表彰するもので、第27回年會から授与が開始されました。秋山助教は、機械振動の影響を受けない新型干渉計の開発「変調強度比を用いたディスペーション干渉計の性能評価」についての発表が評価されました。(職名は受賞当時のものです)



左から井戸准教授、秋山助教、宇佐見助教、西浦助教、清水助教、村上准教授

## 第26回核融合技術に関する シンポジウム最優秀ポスター賞を受賞

装置工学・応用物理研究系の尾花哲浩助教が、平成22年の秋にポルトガルで開催された第26回核融合技術に関するシンポジウム(26th SOFT)において、最優秀ポスター賞(Best Poster Award)を受賞しました。受賞した研究発表題目は、「Study on the dynamic behavior of a current in cable-in-conduit conductors by using self magnetic field measurements」です。今回の受賞は、核融合用超伝導マグネットに使用されるケーブル・イン・コンジット超伝導導体の内部における電流の動的な挙動を、視覚的に表現することに成功した研究成果が評価されたものです。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.197 (2010年12, 2011年1月号)

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL: 0572-58-2222 (代表) FAX: 0572-58-2601  
URL: <http://www.nifs.ac.jp/>  
E-mail: [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp)

\* 過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

### 《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: [info@jaacc.jp](mailto:info@jaacc.jp) 著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。